



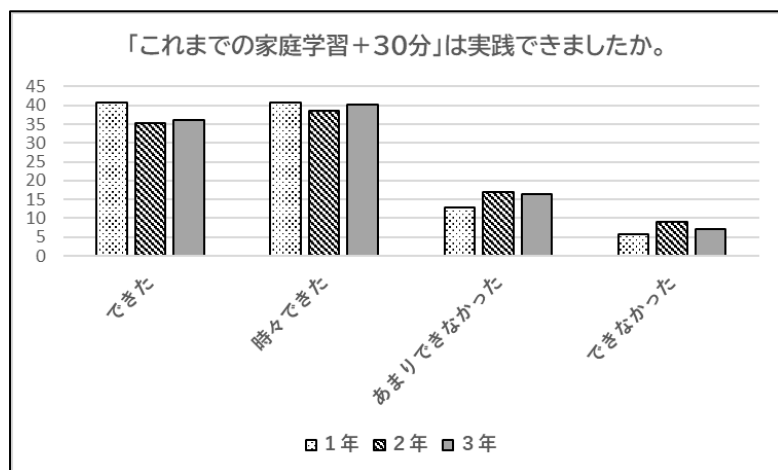
大野一心

NO. 2 1

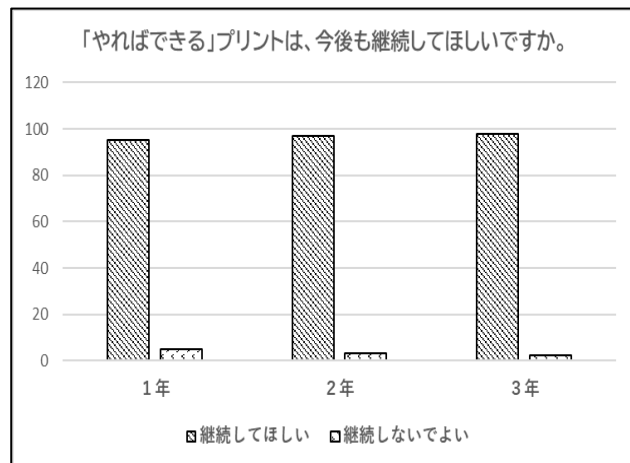
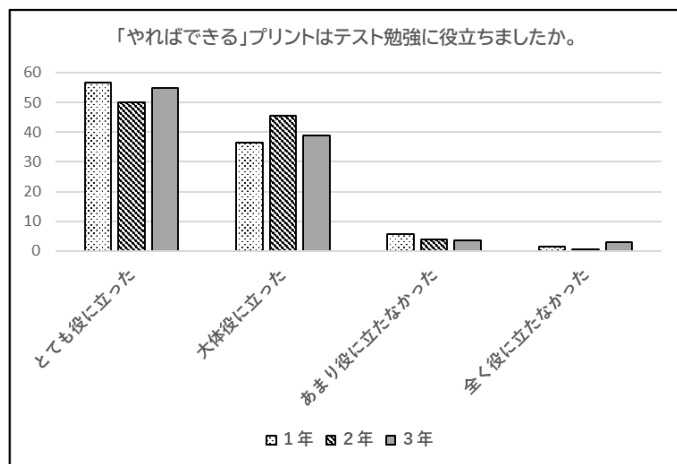
令和5年7月12日（水） 文責：校長 諸熊 修一

定期テスト終了後の家庭学習アンケートについて

定期テスト終了後に「テスト1週間前からテストが終了するまで」のことについて、各学年に家庭学習に関するアンケートを取りました。その結果です。

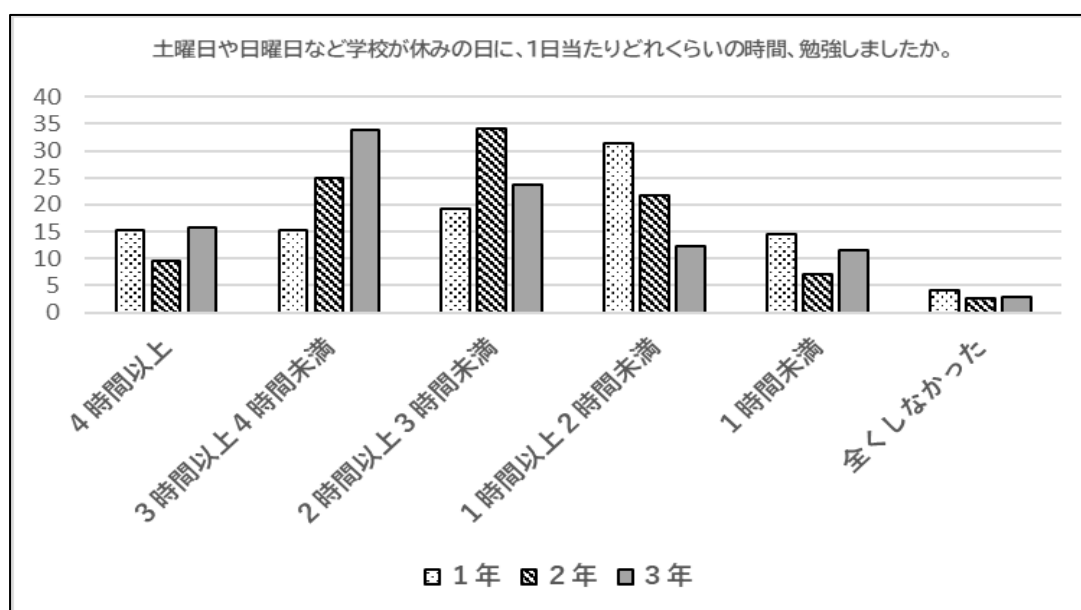
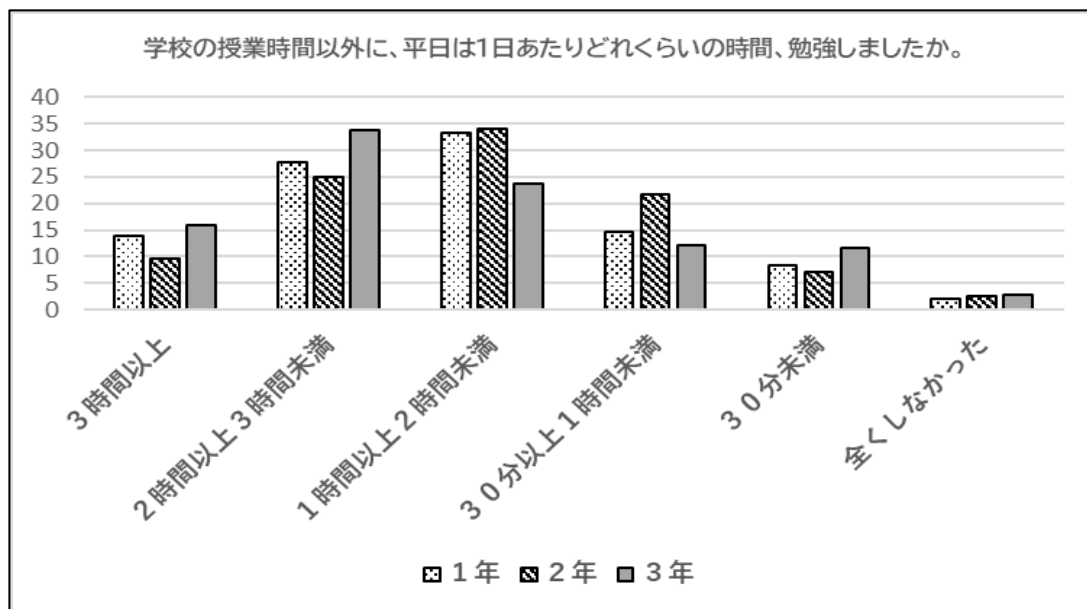


『「これまでの家庭学習+30分」は実践できましたか』という質問には、各学年とも「できた」と回答した生徒が約4割程度でした。「時々できた」を併せると、約8割の生徒が実践できたようです。今後は、定期テスト前だけではなく、日頃の家庭学習でも意識して「+30分」を実践してほしいと思います。



「やればできる」のプリントについて、質問をしました。

「テスト勉強に役立ったか」という質問については、「とても役に立った」「大体役に立った」を併せると、どの学年も約9割以上の生徒が肯定的に捉えています。また、「今後も継続してほしいか」という質問に対しては、ほとんどの生徒が「継続してほしい」と回答しています。この結果から「やればできる」プリントは、テスト前の試験勉強の一つとして、ある程度の役割を果たしていることが分かります。この取組が生徒のやる気の喚起や基本的な知識理解への習得につながり、そのことを土台として、学力向上につながってほしいと願っています。



テスト前1週間における家庭学習の時間に関して尋ねました。学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含んでいます。

もちろん勉強は量（時間数）ではなく、質（内容）であることは、重々承知です。ただ、昨年度の調査でも、各学年に家庭学習を全くしない生徒が一定数いました。そういった生徒にこそ「やればできる」プリントをぜひとも活用してほしいのですが、今回のアンケートの結果からも、家庭学習が平日「30分未満」や休日「1時間未満」、そして「全くしなかった」という生徒が各学年いて、非常に残念でした。

繰り返し述べていることですが、これまで、ほとんど家庭学習をしていなかった人は、30分で構いません。1時間や2時間以上学習をしていた人は、30分だけ伸ばしてみてください。30分あればできることがたくさんあります。「塵も積もれば山となる」です。その30分が積み重なって、知識が定着していきます。来週からは夏休みが始まります。ご家庭においてもお子様の家庭学習の習慣化について、ぜひお力添えをお願いします。

